

「とくた・わくわくキッズ」(矢巾町) が佳作入賞

日本損害保険協会「ぼうさい探検隊マップコンクール」

岩手代協の呼びかけに応じて取り組んだ「とくた・わくわくキッズ」の7人が、全国コンクールの佳作に入賞しました。(3月7日岩手日報 参照)

当協会の地球環境・社会貢献委員会(委員長・小笠原裕司)が中心に、300枚近いパンフレットを各市町村の教育委員会等に配布、岩手代協経由で2団体がエントリーしました。そのうちの1団体「とくた わくわくキッズ」が佳作入賞しました。岩手県では唯一で初の入賞です。

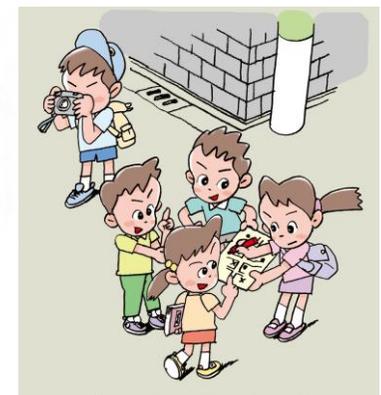
昨年は、全国から2,506団体がエントリー。入選17作品、佳作100作品が選ばれました。



【過去の作品マップ】



【配布グッズ】



今年も多くの団体が応募していただくよう取り組みます。
(岩手代協 小笠原委員長談)

安全マップ 全国で佳作

矢巾・利用児童ら手作り 徳田児童館

矢巾町西徳田の徳田児童館(藤原隆聖館長)を利用している徳田小3年7人の「とくた わくわくキッズ」は、防犯に役立てようとして地域の安全マップを制作し、第12回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」(日本損害保険協会など主催)で佳作に選ばれた。

地域のスクールガードを紹介し「皆さんの

おかげで安心して下校できます」と感謝の思いもつづった。マップ

は入選17作品に次ぐ佳作(100作品)に選ばれた。県内では唯

は同児童館の女関に掲



示し、110番の家の周知や防犯対策に役立つ。メンバーは山本瑛翔君、伊藤幹大君、川村

「とくた わくわくキッズ」の7人と佳作に選ばれた安全マップ。すると、意外な所に危険が潜んでいる。みんながマップを見て110番の家や危険な場所が分かるようにと作った」と充実の表情で振り返った。